

History of Urban Planning and Design

1 unit (selection)

Kojiro WATANABE · ASSISTANT PROFESSOR / GEOTECHNICAL AND GEOENVIRONMENTAL ENGINEERING, DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL ENGINEERING

Target) 本講義の目的は、現代都市計画に大きな影響を及ぼしている、近代以降に世界各地で提案・実践されてきた都市計画、都市デザインの歴史を、当時の社会背景、実現のための制度等を踏まえながら振り返ることで、その意義、特徴を学ぶことである。

Outline) 本講義では、近代に提案されてきた都市計画、都市デザインを取り上げ、時代の変遷とともにその内容、実現のための制度、当時の社会背景について説明する。

Keyword) 都市計画史, 近代

Fundamental Lecture) “History of Civil Engineering and Architecture”(1.0)

Relational Lecture) “History of Civil Engineering and Architecture”(0.5), “都市計画”(0.5)

Goal) 近代以降に提案されてきた都市計画、都市デザインの意義、特徴を理解する

Schedule)

1. ガイダンス, 都市計画史を学ぶ理由
2. 海外の都市計画史 イギリス
3. 海外の都市計画史 フランス, ドイツ
4. 海外の都市計画史 その他の諸国
5. 日本の都市計画史 明治期から大正期
6. 日本の都市計画史 昭和期から終戦まで
7. 日本の都市計画史 戦後から現代
8. 試験

Evaluation Criteria) 出欠状況と試験の成績で評価し、60点以上を合格とする。

Relation to Goal) 本科目は本学科の教育目標の3(3)に50%, 6に50%対応する。

Reference)

- ◇ 都市計画の世界史 (講談社現代新書 1932), 日端 康雄 (著)
- ◇ 東京の都市計画 (岩波新書), 越沢 明 (著)
- ◇ 都市計画, 日笠 端 (著), 共立出版

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216526>

Note) 授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。